

# シラバス

授 業 科 目	循環器・腎疾患と薬物治療(H18～)・疾患と薬物治療学Ⅰ(～H17)		
(英 文 名)	Pathophysiology of Cardiovascular & Nephric Disorders and Drug Therapeutics・Pathophysiology and Drug Therapeutics Ⅰ		
担 当 教 員	塩見浩人 他		
単 位 数 (期別)	△2(後)(H18～) ・②(後)(～H17)	対 象 学 生	3P(H18～) ・2PY,2PS(～H17)

## ■授業のねらい・概要■

循環器疾患は罹患者数が多く、また生命に関わる疾患である。将来、薬剤師として循環器疾患に関する適切な薬物治療に貢献できるようになるために、心臓と血管系ならびに腎臓疾患に関する病態生理を理解した上で、各疾患の治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得することを本授業の一般学習目標とする。【C13(2)】、【C14(1),(2)】

## ■授業(学習)の到達目標■

各項目の達成目標は、項目ごとに配布する試料プリントの中に記載する。主なものは、①虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症など)、心不全、不整脈、高血圧症の病態生理と症状について説明できること。②上記疾患について、適切な治療薬とその作用機序、副作用ならびに使用上の注意について例をあげて説明できること。

## ■回数ごとの授業内容■

- |   |   |
|---|---|
| 1 循環器疾患の概要:生活習慣病と循環器疾患の関連(塩見)                   | 9 うっ血性心不全と薬物治療Ⅲ:薬物治療における $\beta$ 遮断薬および利尿薬の役割(宇野) |
| 2 虚血性心疾患と薬物治療Ⅰ:狭心症の病態生理(塩見)                     | 10 うっ血性心不全と薬物治療Ⅳ:薬物治療における強心薬の役割(土谷)               |
| 3 虚血性心疾患と薬物治療Ⅱ:狭心症の薬物治療における硝酸薬の役割(塩見)           | 11 不整脈と薬物治療Ⅰ:不整脈の病態生理(塩見)                         |
| 4 虚血性心疾患と薬物治療Ⅲ:狭心症発作予防薬の病態に応じた使い分け(塩見)          | 12 不整脈と薬物治療Ⅱ:不整脈の薬物治療と問題点(塩見)                     |
| 5 虚血性心疾患と薬物治療Ⅳ:心筋梗塞・急性冠症候群の病態生理と治療(塩見)          | 13 高血圧と薬物治療Ⅰ:病態生理と治療ガイドライン(塩見)                    |
| 6 虚血性心疾患と薬物治療Ⅴ:心筋梗塞の再発予防(塩見)                    | 14 高血圧と薬物治療Ⅱ:高血圧の第一選択薬(塩見)                        |
| 7 うっ血性心不全と薬物治療Ⅰ:うっ血性心不全の病態生理(塩見)                | 15 高血圧と薬物治療Ⅲ:高血圧の第二選択薬(塩見)                        |
| 8 うっ血性心不全と薬物治療Ⅱ:レニン・アンギオテンシン・アルドステロン系抑制薬の役割(塩見) |   |

## ■成績評価の方法・基準■

①総括的評価のため、講義内容全体を網羅した期末試験をおこなうが、講義中の質問に対する対応も評価の対象とする。②各項目が終わった時点で到達度チェックを行う。③\*コンピュータ自己学習施設(31号館1階)を利用して持続的に自己学習をすることも奨励

# シラバス

する。③\*は、受講者全員に強制するものではないが、学習態度・意欲として最終評価において評価の対象になる。

---

## ■使用テキスト■

---

教科書は指定しない。ただし、個々の学生にとって理解し易い参考書を持つことを推奨する。講義にはプリントを配布する。その中に講義に対する学生の到達目標を明示する。

---

## ■参 考 書■

---

グッドマン・ギルマン薬理学（上・下）（廣川書店）、シンプル薬理学（南江堂）、NEW薬理学（南江堂）、標準薬理学（医学書院）、薬と疾病Ⅱ・薬物治療Ⅰ（東京化学同人）、薬剤師・薬学生のための臨床医学（文光堂）など。

オフィス・アワー	月曜日～土曜日：随時
(授業内容等の質問・相談日)	